

高齢者・障がい者施設における初動対応のための新型コロナウイルス対応チェックリスト

<感染発生初動時の対応>

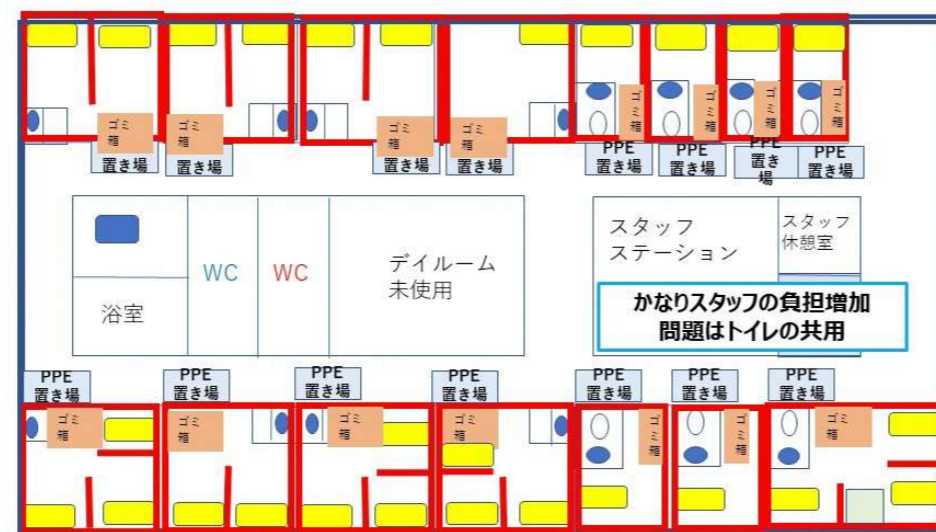
- 施設内で感染者が発生した場合は、感染を拡大させないため、職員でも入所者でも1名発生したらただちに対応することが重要であり、速やかに感染拡大防止に向けた運営に切り替える必要があります。
- また、施設内療養者に適切な医療支援を提供できるよう各施設の嘱託医、協力医療機関、地域の医療機関、入所者のかかりつけ医等と医療支援が必要となった場合の対応の確認をお願いします。

- 確認事項（ゾーニング、職員と利用者の往来）

- 陽性となった入所者は個室対応（食事・排泄・清拭管理）
- 共用スペースは原則使用禁止
- 各居室内がレッドゾーン、その他はグリーンゾーン
- 陽性者の入居するフロア、ユニット等と陽性者が出ていない他のフロアとの往来を制限。

（職員はフロア毎に専用で充てる）

フロアレイアウトとPPE着脱



居室がレッドゾーン、その他の空間はすべてグリーンゾーン設定
各部屋の入り口にPPE置き、患者ごとにPPE交換・手指衛生
多床室は、患者同士の接触を避けるため可能なら衝立設置

作図：国立病院機構長良医療センター 加藤達雄統括診療部長 安江亜由美感染管理認定看護師



各部屋前にPPE置き場を



各部屋出口手前の室内でPPEを脱いで手指衛生

○ 確認事項（PPE）

- ガウンと手袋は各部屋の前に用意、そこで着用、部屋を出るとき脱いで出る
- 多床室ではガウンと手袋を患者毎に取り替える
- 常時着用するPPE（サージカルマスク(1日1枚)、フェイスシールドあるいはゴーグル(1日1回消毒))と追加で着用するPPE（ガウン(1名1枚)、手袋(1名1枚)を適切に管理
- PPEを着る手順と脱ぐ手順を徹底し、特に脱ぐ場合はひとつのPPEを脱ぐ毎に手指消毒をする
- 喀痰吸引時等でN95マスクを着用する場合はサージカルマスクをアウターにN95マスクはインナーに着用

図1：PPE着脱手順



○ 確認事項（環境整備、寝衣・リネン・食器・ゴミ等）

- 寝衣・リネンは、部屋を十分換気し、マスクに加え、フェイスシールド、手袋、ガウン着用で交換し、ビニール袋に包んで運び出す

（家庭用洗濯機の通常工程の洗濯で対応可／（陽性者と陰性者をのものを分けて処理する必要はない。）

- 食器は、陽性者が出た場合はディスポにする
- ゴミはビニール袋に包んで 72 時間放置
- ゴミの一時保管場所を設定
- 共用部分やリハビリ機器の消毒は、1 日の回数とタイミングを決め、丁寧に行う
- 感染者が触った可能性がある箇所のふき取り消毒
- 消毒薬は原則としてアルコールとし、布のほうにアルコールを噴射して十分含浸させてから清拭
- 陽性であった入居者が退室したあとの部屋の環境整備は 72 時間部屋立ち入り禁止してから実施

○ 確認事項（職員、利用者への対応）

- 職員、利用者の健康状態の確認
- 接触者をリストアップし、保健所へ報告
- 保健所の調査、検査に協力
- 自宅に戻っても家族と同室の場合は基本マスク着用、基本は自室で過ごし、喫食・入浴・洗面は単独で行うよう周知
- 施設内療養者に適切な医療支援を提供できるよう各施設の嘱託医、協力医療機関、地域の医療機関、入所者のかかりつけ医等に支援を依頼
- 退院時（療養基準を満たした後）のPCR検査（陰性確認）は不要